

第2章

湖南省の教育の状況

1 湖南省の概況

湖南省は滋賀県南部に位置し、大阪、名古屋から 100 km 圏内にあり、近畿圏と中部圏をつなぐ広域交流拠点にあります。南端に阿星山系を、北端に岩根山系を望み、これらの丘陵地に囲まれて、地域の中央を野洲川が流れています。野洲川付近一帯に平野が開け、水と緑に囲まれた自然環境に恵まれた地域です。地形は、平地、丘陵、山林に分かれ、特に山林が全土地面積の5割強を占めています。

本地域は古くは近江と伊勢を結ぶ伊勢参宮街道として栄え、江戸時代には東海道五十三次の 51 番目の石部宿が置かれ、街道を中心とした産業や文化が栄えました。

また、市内には「湖南三山」と称され、それぞれ国宝の建造物を有する長寿寺、常楽寺、善水寺のほか、由緒ある社寺が点在しているとともに、天然記念物平松のウツクシマツ自生地などの歴史文化・遺産も豊富です。

本市の人口の推移をみると、総人口は横ばいで推移しており、平成 31 年で 54,998 人となっています。また、年齢3区分別人口の推移を構成比でみると、年少人口（15 歳未満）の割合は減少しています。一方、老年人口（65 歳以上）の割合は増加しており、少子高齢化が進んでいることが伺えます。

湖南省の人口（年齢別人口構成）の推移

項目	区分	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年
人口	全体	54,817	54,843	54,789	54,778	54,998
	老年人口 (65 歳以上)	11,279	11,813	12,231	12,625	12,999
	生産年齢人口 (15～64 歳)	35,726	35,315	34,914	34,587	34,531
	年少人口 (15 歳未満)	7,812	7,715	7,644	7,566	7,468
構成比	老年人口 (65 歳以上)	20.6	21.5	22.3	23.0	23.6
	生産年齢人口 (15～64 歳)	65.2	64.4	63.7	63.1	62.8
	年少人口 (15 歳未満)	14.3	14.1	14.0	13.8	13.6

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

2 就学前教育の状況

市内には、私立1園を含む3つの幼稚園と、私立7園を含む15の保育園、認定こども園があり、幼稚園には242人、保育園、認定こども園には1,568人の園児が在園しています（令和元年5月1日現在）。現在新たに策定中の「湖南省子ども・子育て支援事業計画」において、公立保育園を認定こども園として整備する方針が示されています。

また、民営化された園についても、順次整備を行い、認定こども園へと移行していく予定です。令和2年度から、公立幼稚園2園、公立保育園3園、公立認定こども園1園が民営化されます。

共に生きる幼児教育



保育園と幼稚園の定員および設置数

区分		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
保育園	か所数	12	10	10	9	9
	定員数	1,280	990	1,010	870	880
	入所者数	1,110	904	907	770	755
	公立保育園	か所数	8	6	6	5
		定員数	1,040	750	770	630
		入所者数	919	690	688	540
	私立保育園	か所数	4	4	4	4
		定員数	240	240	240	250
		入所者数	191	214	219	215
幼稚園	か所数	6	5	3	3	3
	定員数	1,140	1,000	520	410	410
	入所者数	675	645	294	256	242
	公立幼稚園	か所数	3	2	2	2
		定員数	420	280	280	170
		入所者数	188	152	134	115
	私立幼稚園	か所数	3	3	1	1
		定員数	720	720	240	240
		入所者数	487	493	160	127
認定こども園	か所数		2	4	5	6
	定員数		350	744	874	949
	入所者数		317	649	777	813
	公立認定こども園	か所数		2	3	3
		定員数		350	510	510
		入所者数		317	456	357
	私立認定こども園	か所数		2	2	3
		定員数		374	364	439
		入所者数		314	321	385

資料：保育園は、各年4月1日現在、幼稚園は学校基本調査（各年5月1日現在）

3 学校教育の状況

市内には、市立小学校9校、市立中学校4校を設置しています。令和元年5月1日現在、小学校では、3,028人の児童が在学しており、中学校では、1,411人の生徒が在学しています。

今後の児童生徒数については、令和7年度には小学生は2,816人、中学生は1,468人の見込みであり、当面は現状を推移するとみられます。

授業風景



小中学校（児童・生徒数、本務教員数、学級数）

区分		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
小学校	児童数	2,987	2,954	2,963	2,980	3,028
	学級数	138組	138組	138組	146組	146組
	教員数	267	212	213	217	235
中学校	児童数	1,587	1,496	1,477	1,450	1,411
	学級数	65組	61組	61組	61組	59組
	教員数	143	112	119	118	124

資料：学校教育課調べ（各年5月1日現在）

4 特別支援教育の状況

言語やコミュニケーション、学習面の課題や発達障がいに対する支援や指導を行うため市内4か所（三雲小、水戸小、菩提寺小、石部小）に開設している「**湖南市ことばの教室※**」には、園児、児童生徒が355人（平成30年度）通級しています。

各中学校区に教室を設置したことで、身近に利用しやすくなったことにより、通級数、相談数ともに増加してきています。

ことばの教室 プレイルーム



ことばの教室 指導室



市内のことばの教室への通級する園児・児童生徒数および教育相談件数

区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
園児・児童生徒数	247	255	296	318	355
教育相談件数	697	804	957	1,078	1,217

資料：学校教育課調べ（年度末）

5 外国人児童生徒の状況

市内小中学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒数は、平成 30 年度では小学校 8 校 154 人、中学校 4 校 66 人、令和元年度では小学校 8 校 178 人、中学校 4 校 72 人となっています。在籍する外国人児童生徒で最も多いのは、ブラジル・ペルーなどの南米にルーツのある児童生徒で、日本語指導が必要な児童生徒への支援のため、日本語教室の設置や通訳の配置、自動翻訳機等の配置を行っています。

外国人児童生徒の状況



また、湖南省では平成 19 年度から日本語や日本の文化・習慣などを集中的に指導する日本語初期指導教室「さくら教室※」を市内に設置し、学校へのスムーズな転入を支援しています。これまでに延べ 343 人がさくら教室に通級し、湖南省の小中学校へ転入をしています。

市内の外国人児童生徒の在籍状況

項目	小学校	中学校	全体
公立学校	178	72	250

資料：学校教育課調べ（令和元年 5 月 1 日現在）

市内の日本語指導が必要な外国人児童生徒の推移

		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年
小学校	日本語指導が必要な外国人児童数	101	130	155	154	178
	在籍学校数	8	8	8	8	8
中学校	日本語指導が必要な外国人児童数	51	39	67	66	72
	在籍学校数	4	4	4	4	4

資料：学校教育課調べ

6 不登校児童生徒の状況

平成19年度末、本市では小中学校全体の不登校率が2.90%という状況(全国1.22%)であることから、「不登校ネット会議」の取組をスタートしました。市内の不登校対策は、「不登校の未然防止や再登校の促進には、学校内外の支援者が『子どもの認知特性をつかみ、適切なアセスメント※を立てること』と、『授業や学級経営の改善についての視点をもつこと』が必要である」という方針です。

これにより、長期欠席者の在籍比率の低下につながっています。不登校の背景はケースによりさまざまですが、状況改善のため、巡回相談・社会福祉士・市費スクールソーシャルワーカー※など関係機関との連携を図りながら継続して取り組んでいます。

不登校率の推移（湖南省・滋賀県・全国）

		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
小学校	湖南省	0.50%	0.70%	0.55%	0.64%	0.77%
	滋賀県	0.47%	0.51%	0.49%	0.56%	0.75%
	全国	0.39%	0.43%	0.47%	0.50%	0.70%
中学校	湖南省	3.70%	4.43%	4.25%	3.86%	3.72%
	滋賀県	2.52%	2.59%	2.79%	2.29%	3.40%
	全国	2.76%	2.95%	3.14%	3.20%	3.65%
全体	湖南省	1.57%	1.92%	1.79%	1.71%	1.74%
	滋賀県	1.18%	1.20%	1.26%	1.38%	1.63%
	全国	1.21%	1.27%	1.35%	1.50%	1.69%

資料：学校教育課調べ（年度末）

7 指定文化財などの状況

本市が扱う文化財は建造物、美術工芸、重要美術品に史跡・天然記念物など多種多様な分野にわたり、国宝の建造物を有する長寿寺、常楽寺、善水寺に代表される国・県の指定文化財など 55 件を含む、123 件の指定文化財を保有する市となっています。

また、文化財保護にかかる行政が扱う分野も、調査や保護・管理、資料館などの施設、市史編纂など多岐にわたっています。

市内に所在する指定文化財などの件数

		国	県	市	合計	
有形文化財	建造物		(4) 8		13	21
	美術 工芸品	絵画	3	4	9	16
		彫刻	22	3	24	49
		工芸品	5	2	10	17
		書籍・典籍・古文書等	1		6	7
		歴史資料		1		1
	重要美術品		2			2
	小計		(4) 41	10	62	113
記念物	史跡		1	1		2
	天然記念物		1		3	4
	小計		2	1	3	6
登録文化財	登録有形文化財		1			1
選定	保存技術				1	1
合計			(4) 44	11	66	121

備考：1 国指定の有形文化財は重要文化財を示し、内、国宝の内数を括弧内に示す

2 有形文化財、記念物の欄は指定件数を示す

3 登録文化財の欄は登録件数、選定欄は人数を示す

資料：生涯学習課調べ（令和元年 5 月 1 日現在）

8 スポーツ少年団の状況

少子化により子どもの数が減少する中、地域における青少年のスポーツ環境であるスポーツ少年団においては入団率が年々減少しています。

また、本市のスポーツ少年団における指導者有資格者は99.12%であり、指導者としての意識の高さがうかがえます。

子どもの運動機会の充実とスポーツ離れを解消することが求められています。



スポーツ少年団活動風景



スポーツ少年団フェスティバル

スポーツ少年団入団者数および入団率

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
入団者数	504	497	567	474	454
入団率	25.87	25.99	20.33	15.43	15.11

資料：生涯学習課調べ（各年3月31日現在）

スポーツ少年団指導者数および指導者有資格者率

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
指導者数	136	122	117	115	113
指導者有資格者率	90.44	94.26	99.14	98.26	99.12

資料：生涯学習課調べ（各年3月31日現在）

9 社会教育施設利用者数の状況

本市には、文化・芸術の拠点となる2つの文化ホール、東海道の歴史資料などを保存・展示した資料館など、社会教育事業を進める施設が多くあります。



甲西文化ホール



石部文化ホール

社会教育施設利用者数

施設名	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
石部文化ホール	9,804	9,826	9,914	7,956
甲西文化ホール	18,779	16,929	20,009	18,475
東海道石部宿歴史民俗資料館	1,651	1,096	1,102	1,228
雨山研修館宿場の里	1,719	2,420	1,576	1,425
市民学習交流センター	38,636	35,431	37,404	34,696
合計	70,589	65,702	70,005	63,780

資料：生涯学習課調べ（各年3月31日現在）

10 社会体育施設利用者数の状況

本市には、子どもたちや働く人たち、地域住民のスポーツ活動にとってスポーツを身近に感じ、親しむための社会体育施設として、4つの体育館、5つのグラウンド、テニスコートなどがあります。



雨山総合グラウンド



湖南省総合体育館

社会体育施設利用者数

施設名	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
雨山体育館	15,393	14,878	15,852	16,109
雨山第二体育館	7,542	7,341	7,142	6,155
総合体育館	163,677	167,982	114,254	129,135
水戸体育館	10,019	9,661	9,587	9,314
雨山総合グラウンド	14,745	12,798	11,074	9,149
丸山運動場	4,924	4,489	4,595	4,482
雨山テニスコート	4,685	4,035	3,545	3,275
市民グラウンド	9,283	10,054	8,015	17,458
野洲川運動公園	12,870	12,908	17,100	19,087
総合スポーツ施設	20,857	21,319	14,400	15,251
合計	263,995	265,465	205,564	229,415

資料：生涯学習課調べ（各年 3 月 31 日現在）

11 公立図書館の状況

市内には、市民の知る権利を保障する施設として石部図書館、甲西図書館の2つの図書館があり、図書館から離れた地域や保育園等へは移動図書館が巡回しています。また、平成30年11月には電子図書館※も開設されました。

「くらしの中に図書館を」を基本目標に、図書の貸出や調査・相談だけでなく、さまざまな集会行事も開催しています。

市民1人当たりの貸出冊数は減少傾向にあります。同様の規模の自治体の全国平均約5.0冊（「日本の図書館 2018」日本図書館協会より）を上回っています。人口減少に伴い、新規登録者数も減少傾向にあります。多くの市民の方に利用してもらえよう広報に努めます。

「湖西市読書の魅力種まきプラン※」に基づき読書活動の推進に努めています。

また、資料に関する問い合わせも定着しており、相談に応じる司書のスキルアップの必要性が高まっています。

甲西図書館



石部図書館



館内



公立図書館の状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
年間貸出冊数	440,624 冊	413,851 冊	385,073 冊	370,395 冊
年間貸出人数（※1）	95,363 人	90,410 人	83,474 人	84,779 人
市民 1 人あたりの年間貸出冊数	8.0 冊	7.5 冊	7.0 冊	6.8 冊
児童 1 人あたりの年間児童書貸出冊数	20.3 冊	19.1 冊	17.2 冊	16.0 冊
新規登録者数	1,310 人	1,145 人	1,042 人	793 人
おはなし会※の年間開催数	73 回	74 回	72 回	72 回

資料：図書館調べ（各年3月31日現在）

※1 1年間に本を借りた人の延べ人数。（来館者数ではないため、閲覧利用者は含まない）